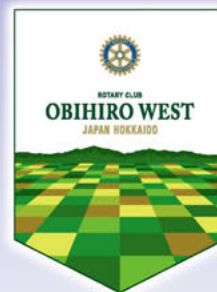




帯広西ロータリークラブ 第2075回例会 2015.1.22



■RI第2500地区テーマ■

誠心誠意

Service With Sincerity



■クラブ・テーマ■

「絆を重んじ、信じ合い、輝やけるクラブを目指そう」

ロータリーソング ソングリーダー 鎌田裕樹会員

帯広南RC、2月16日(月)の繰上げ例会と致します。
帯広RC、2月18日(水)の繰上げ例会と致します。

会長報告

平田利器会長

本日は、ゲストをお迎えしての例会です。12月19日より入院されておりました故川上哲平会員が1月17日に急逝され21日葬儀が終了致しました。クラブに貢献され数多くの教えを戴きました事に感謝致し黙祷を捧げたいと思います。



改めて皆さんこんにちは。先週は自分の都合で不在でしたので会長報告を飯田副会長に御願いたしました。飯田副会長有り難う御座いました。

本日は、JA帯広かわにし代表理事、組合長並びに帯広物産協会会長の、有塚利宣様をお迎えしての例会です。大変お忙しい所、時間をさいて戴き誠に有り難う御座います。直接お話をうかがえる事は誠に光栄に思います。本日は「十勝の農業」について食品製造、危害要因分析管理法、農業生産工程管理等を中心に、不撓不屈の精神でいかなる困難にも負けない強い心と気持ちで常に改革に立ち向かわれていらっしゃると思います。創ろう食と農、地域と暮らしを、持続的に発展する事を継続され実行されているお話を戴き我が西ロータリークラブに知恵と勇気を与えて戴きます事を御願いし、会長報告と致します。

- ②帯広東RC、夜間例会開催のご案内
日 時 2月17日(火)午後6時30分
場 所 アパホテル帯広駅前
- ③帯広西RC、夜間例会開催のご案内(創立記念例会)
日 時 2月19日(木)午後6時30分
場 所 北海道ホテル

委員会報告

IM実行委員会

古田敦則IM実行委員会幹事



ニコニコ献金 親睦活動委員会 工藤正宏副委員長
平田 利器 会長

先週は休ませて頂きました。飯田副会長ありがとうございます。今日は有塚組合長様をお迎えしての例会、よろしくお祈りします。



横山 明美 会員

本日のプログラム、十勝農業のリーダー有塚組合長の講演楽しみに。

久保 忠正 会員

「先生、今日はゴルフのニコニコあるのですか？」と聞くと「下手だった」と屈託もなく答えてくれました。六十三回目の時は、まとめて出されたように憶えています、西クラブの星を失い、寂しくなりました。ご冥福をお祈りいたします。空の方で頑張ってください。

鎌田 裕樹 会員

娘が天皇杯皇后杯全日本卓球選手権(ジュニアの部)でベスト16に入りました。ご声援ありがとうございました。

会務報告

天野清一幹事

- ①帯広5RC・芽室RC・音更RC、7RC
合同例会開催のご案内
日 時 2月13日(金)午後0時集合
場 所 ホテル日航ノースランド
帯広



講 師 石澤良昭氏

(歴史学者(第13代上智大学学長))

～スケジュール予定～

- ・12:00 会 食 12:40 講 演
- ・12:30 例 会 13:30 終 了

※尚、帯広東RC、2月10日(火)の繰下げ例会と致します。

帯広西RC、2月12日(木)の繰下げ例会と致します。

ニコニコ	1月22日	8,000円	
献金	累計	428,221円	(1月22日現在)



会 長 平田 利器 副会長 佐々木和彦 会場監督理事 堂山 啓太 発行：広報委員会
幹 事 天野 清一 副会長 飯田 正行 プログラム委員会理事 久保 且佳 委員長 森 房明 (副)立崎 貴之



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



「十勝の農業について」 JA帯広かわにし 代表理事組合長 有塚 利宣 様



今日は常日頃、社会奉仕に大変活発に活躍をされています皆さま方、本当にありがとうございます。お招きをいただきまして常日頃の皆さま方の活躍に心から敬意を表するところでございます。今日は限られた時間でございますので、横山会員から紹介がありまして昭和6年生まれということについてみますと、皆さん方のお父さんと非常にじっこんにあずかって今日までこうやってお世話になってくるものであります。何人かの人も全部知っております。名乗りあえばまだまだ知っているとします。それから例会の案内を読ましていただいたところ、次はですね上智大学の学長さんでありました石澤さんがおいでになると、これは、私もですね、すごい人を呼べたなあと思っているところでもあります。さて、わたくし昭和6年生まれでありますから80を過ぎまして頭の中もどんななってるかわかりませんが、これはその、皆さま方の評価ですから、歌でもなんでも作者を離れたら自由に評価していただいていた方がいいわけですから、どうかひとつ、そんなことから皆さんにいい、残しておきたいなあ、語りべな今日の十勝農業を、それからまたこれからの夢ある農業について私が十勝の若者たちにいっていることを締めくくりに結んで終わらせたいと思います。

まず、今年、十勝がひらけまして、ご承知の通り、開拓133年を迎えます。私たちの祖先、農耕民族と狩猟民族でありますアイヌとは、争いごとを一つも起こさなかったでございます。そしてアイヌの生活文化に支えられて教えられて、学んでずっと開拓がきております。

さて、今の農業について2つの論があります。1つは、竹中平蔵さんの資本主義社会の格差がどんどんついていって力のある人はどんどん力をつけてそれを平等な配分を求めているんだと、税金だとかそういったところで、国が平等な配分を求めている。これが1つの竹中平蔵さんであり、小泉さんがとった政策であります。今はどっちかというと地方創生になってまいりました。しかし、依然として農業というのは富を分配するものであるから、農業というのは国が力がなかったら駄目なんだと、国が力をつけて購買力をつけて外国からそれを買えばいいんだと、農業のですね食料の不足論、そういったことがまったく後退した判断だとそういう風に言ってる学者がおります。一方の学者は地方創生論でございます。田舎があつては

じめて都市があるといっております。

この十勝について、申しますと、昭和30年ごろは、十勝の生産人口、戸数は21,000戸ありました。生産面積は、21万haでありました。それが今はですね、26万ha、6,000戸の農家で生産しております。その6,000戸の農家で生産しているのがですね2798億円です。これはあいかわらず1100%の自給率を持っております。日本はカロリーベースでいいますと39ですとか40といっております。カロリーベースでいいますとちょっとわからない点がありますが、実際に日本は必要な食料は、4,000t必要なんです。その4,000tのうちですね、1,000万tだけが国内で生産されております。そして後の3,000万tは、他所から買っているわけでありまして、この買うのに要するに力が無かったら駄目なんです、力があっても買えなくなる時代がまもなくくるといわれております。その3,000万tを買っている中でカロリーベース39といっているわけです。その39はですね、本当にただしいことかなっていいますと、物が入ってこなかった場合ですね、穀物自給率は、25%になります。それに海藻類、水産物を入れまして穀物自給率、国内自給率はですね、27%というふうな農林水産省は報告しております。こんなことから大変な時代が来ると経済学者が言っております。

そんな中、帯広十勝は民の開拓であります。ですから、強靱な支えと集落を持っています。これからの若者にこういったことを伝えながら頑張っていこうと、そして生命産業は決して滅びることがないと確信を持ちながら次の新しい発展を求めていきたいと思う次第であります。どうぞひとつ農業も頑張りますので2次、3次産業に支えられます農業であります。それから又、2次・3次産業を支える1次産業であります。そういう相乗効果のある経済効率のいい、豊かな帯広十勝を築いていきたいと願っているところであります。

本日は大変ありがとうございました。

